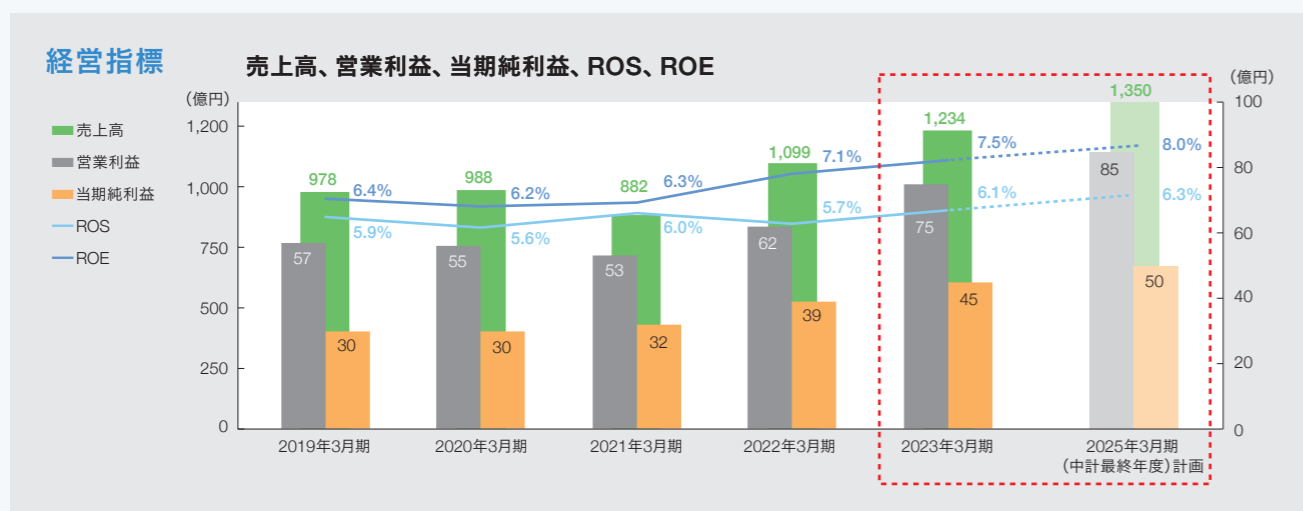


中期経営計画

2022年度より始動している3か年中期経営計画では、「Challenge Now for Change New 2024 変革への挑戦」を経営方針とし、長期ビジョンで掲げた、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して、取り組みを進めています。

本3か年中期経営計画では、経営指標の実現に向けて4つの戦略を推進し、計画の完遂に向けて全社員が一丸となって邁進しています。



進捗状況

本3か年中期経営計画では、従来事業の強みをさらに伸ばさせるための2つの戦略、また将来に向けた成長・発展のための2つの戦略、計4つの戦略を掲げています。1年目である2022年度においては、各戦略に基づいた施策を完遂するための組織や仕組み作りに注力しました。

戦略の1つめ「グローバル経営の深化とシナジー」については、グループ全体最適の追求のため、国内拠点と海外拠点をつないでの営業会議／製造会議を開催し、情報および課題の共有化を進めました。また品質保証、購買においてもグローバル体制を構築しました。今後、各本部を中心とした更なるグローバル横串運営を強化していきます。

戦略の2つめ「顧客の期待の先を行く」については、お客様の要望に対して迅速にソリューションを提供する当社の強み／ビジネスモデルを、さらに強化・発展させるべく、営業面において高い戦略的思考を持った営業人材の育成に注力しました。研究開発部門においてはマテリアルズ・インフォマ

ティクス人材を育成するとともに、システムの本格運用を開始しています。

戦略の3つめ「新規事業／新製品への挑戦」については、2022年10月に社長直轄の組織として立ち上げた新規事業開発準備室にて当社の将来の新規事業／新製品につながるテーマの探索を推進しています。また産学連携によるオープンイノベーションや、知財創出を念頭に置いた開発プロセスの見直し、IPランドスケープの実践にも着手しました。

戦略の4つめ「環境／社会課題解決への貢献」については、サステナビリティ委員会を設置し、気候変動問題への対応やマテリアリティの特定等を行いました。また環境負荷軽減につながる様々な製品開発を進めています。

2年目以降は、1年目に整えた組織や仕組みを強化し、活用することにより、4つの戦略の実行スピードをさらに上げていきます。

4つの戦略

事業の強みを伸ばすための戦略

戦略1 グローバル経営の深化とシナジー

- ASEANを重点地域とし、圧倒的なシェア獲得とトップシェア分野の拡大
- グローバル日系企業・ローカル非日系企業との取引の拡大
- グローバル企業としての確固たる礎の確立
- 各本部によるグローバル横串運営の更なる強化

戦略2 顧客の期待の先を行く

- 当社の強み／ビジネスモデルをさらに強化・発展
- 市場分析による潜在的なニーズを先回りした開発提案営業
- ソリューション提供速度の向上 (研究開発体制の再編、DXの活用)
- フィルムビジネスユニット創設による顧客対応力の向上

将来に向けた成長のための戦略

戦略3 新規事業／新製品への挑戦

- 地理的拡大・顧客ニーズの対応に留まらない新たな事業の柱の構築
- 当社技術の強みをフル活用できる体制の構築、研究開発力の強化
- 人材の多様性確保を通じた新たな発想の創出
- 新規事業／新製品が生み出される体制・手法・文化の再構築

戦略4 環境／社会課題解決への貢献

- 環境対応製品の開発・普及
- サステナビリティ推進体制および各種活動 (気候変動、サーキュラーエコノミー、人権問題、ダイバーシティ、社会貢献等) の強化
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

4つの戦略を支える施策

大きく5つの取り組みに力を入れていきます。

- ① 製造設備への投資
- ② 知財・研究開発への投資
- ③ 業務の効率化・労働環境整備のためのDX投資
- ④ 人的資本への投資
- ⑤ ガバナンス体制の強化

特に④人的資本への投資については、「人の成長こそ企業の成長」という考えに則り、従業員一人ひとりの成長を促すとともに、多様な人材が活躍できる職場環境・企業風土を築いていきます。